



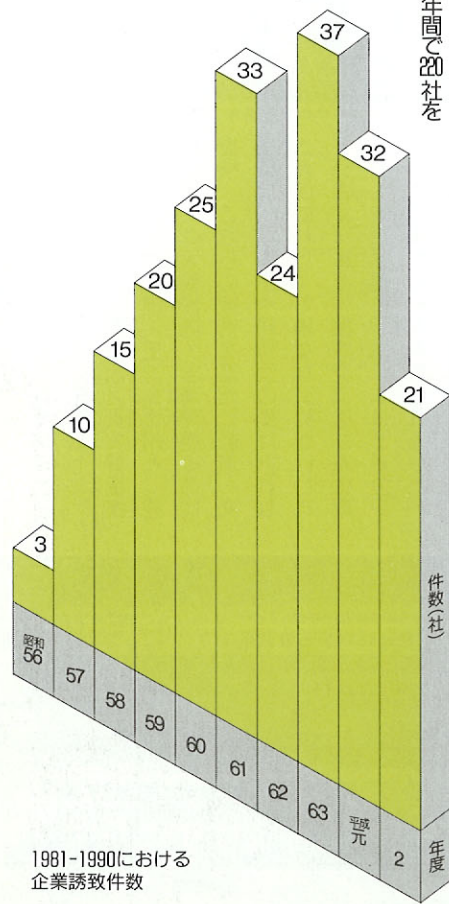
テクノリサーチパーク

DECADE

それは
テクノポリスに始まった

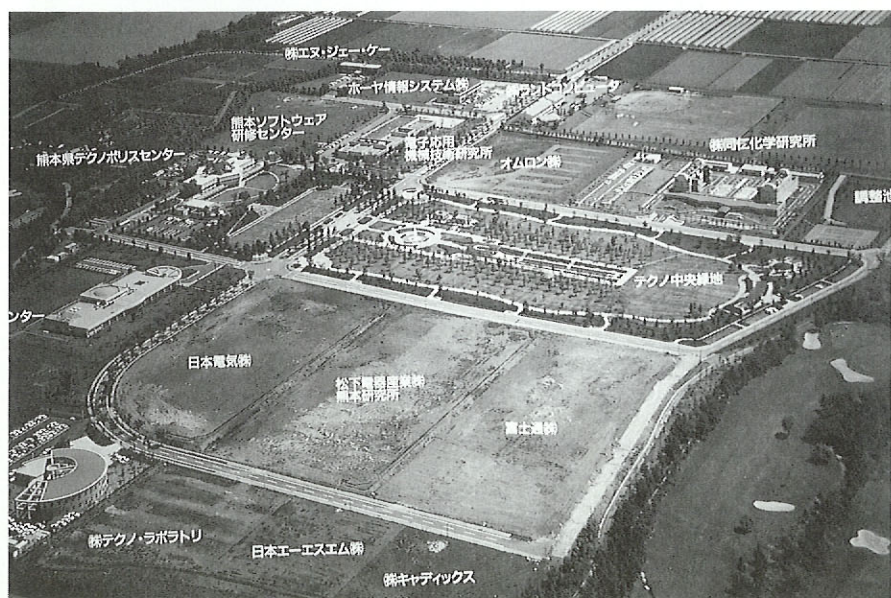
熊本テクノポリス計画―熊本県民には既に耳慣れたこの言葉が、最初に登場したのが一九八一年（昭和五六年）三月に誘致期成会が発足しました。その後、翌八二年の熊本テクノポリス建設基本構想公表。八三年の（財）熊本テクノポリス財団の設立を経て、八四年に国からの開発計画の承認を得、いよいよ本格的にスタート。八五年には電子応用機械技術研究所の開所。八六年には熊本テクノポリスセンターが落成。熊本テクノポリスの中核的拠点であるテクノ・リサーチパーク（28・6畝）には現在前述の二施設の他、熊本大学地域共同研究センターや企業の研究開発施設の立地が進んでいます。豊かな自然環境や高等教育機関の集積など、熊本のすぐれた諸条件を基盤として、先端技術産業を核に産・学・住の機能がバランスよく整備された潤いと活力のある「まち」づくりを目指しています。

企業誘致については、八二年（昭和五七年）に企業誘致推進本部が設置されました。既に八代・有明臨海工業用地への立地も完了するなど、多数の企業の立地が進みこの十年間で20社を誘致しました。



1981-1990における
企業誘致件数

TECHNOPOLIS



83

- 11・19 熊本テクノポリス財団（財）熊本テクノポリス技術開発基金の設立
- 10・17 第一回県婦人海外派遣事業「婦人のつばさ」の実施（派遣先スウェーデン、西ドイツ、スイス、フランス）
- 2・6 知事選挙で細川護国当選
- 1・22 韓国忠清南道と姉妹提携
- 12・4 県立劇場落成式（こけら落とし）（熊本市石原町）
- 12・1 県民総合運動公園全施設が完成
- 10・10 県立総合体育館開館（熊本市上熊本）
- 8・10 伝統工芸館開館（熊本市千葉城町）
- 7・22 アメリカ合衆国モンタナ州と姉妹提携
- 6・26 中国広西壮族自治区と友好提携
- 5・20 産・学・官一体の「バイオテクノロジー研究推進会」発足
- 4・6 大型観光キャンペーン「キャッチフレーズを「情熱 発見 未来」と発表

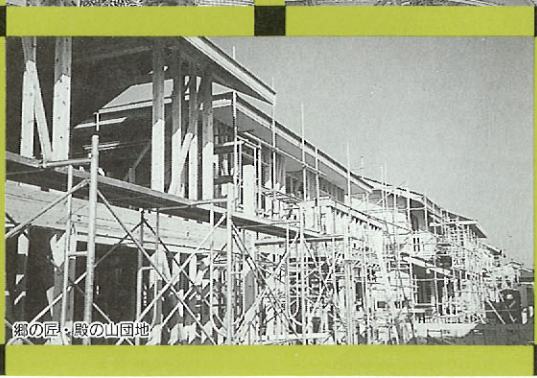
82

- 11・19 松橋町「希望の里」に、授産施設「くすの木園」完成
- 11・2 熊本県婦人問題懇話会設置
- 10・13 県鳥獣保護センター開所式
- 10・8 熊本空港開港10周年、国際定期便就航3周年記念式典
- 3・13 各界代表20人で構成する「テクノポリス誘致期成会」発足
- 10・8 熊本空港開港10周年、国際定期便就航3周年記念式典
- 11・19 松橋町「希望の里」に、授産施設「くすの木園」完成
- 11・2 熊本県婦人問題懇話会設置
- 10・13 県鳥獣保護センター開所式
- 10・8 熊本空港開港10周年、国際定期便就航3周年記念式典

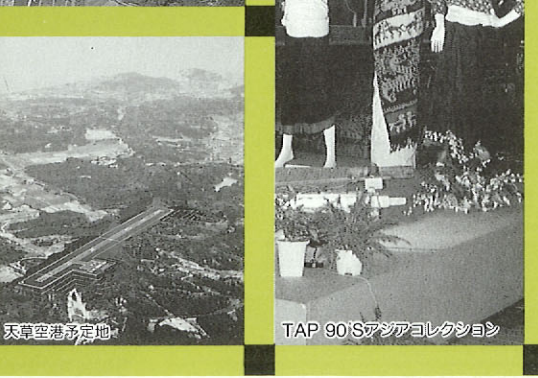
81



国際保健医療交流センターでの
セミナー風景



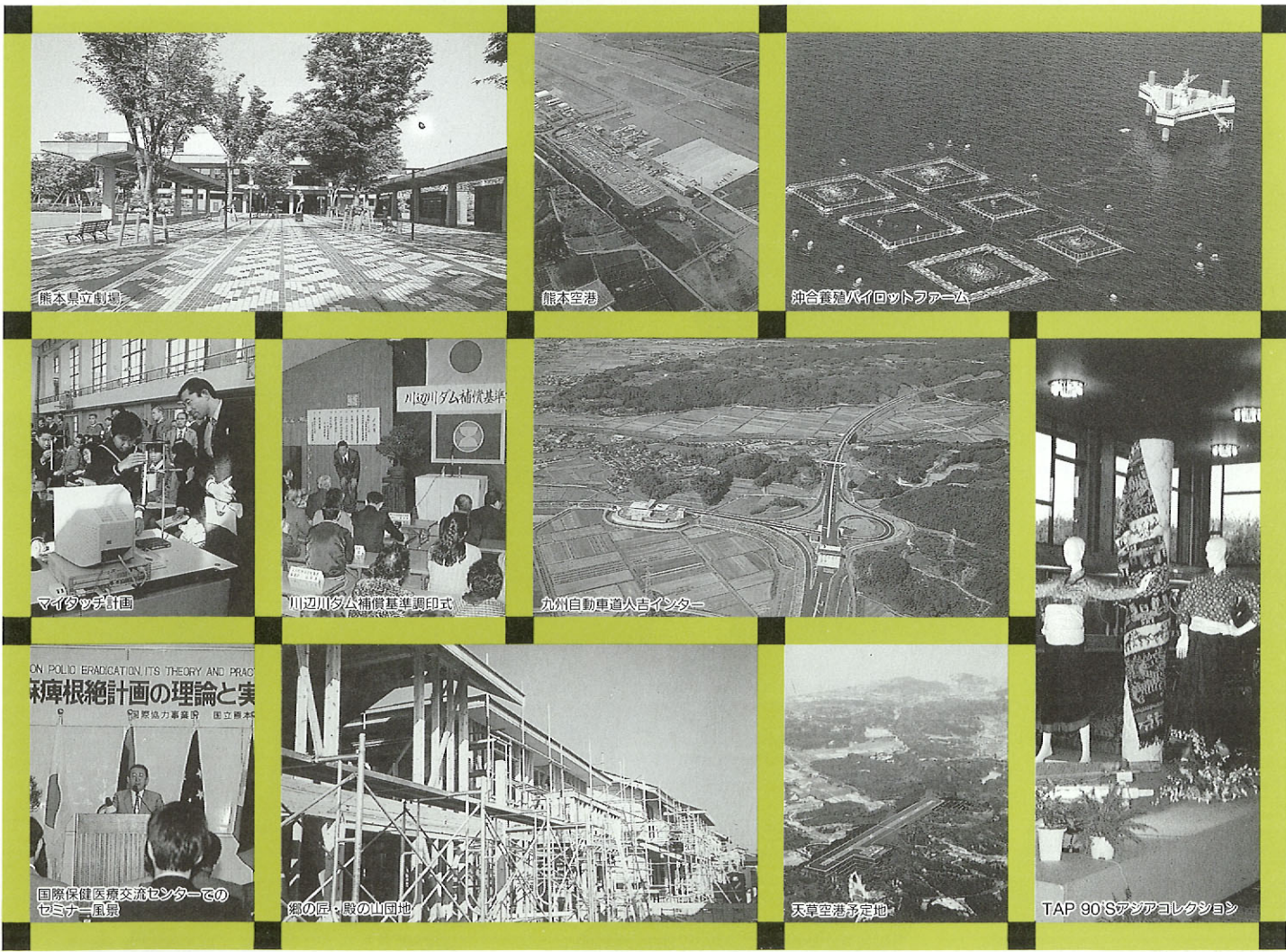
熊本の山・谷の風景



TAP 90'Sアジアコレクション

魅力あふれる 特集
未来の熊本を目指して
1990 県政10年を振り返る 1981

世界の政治が、経済が、大きく動いた1990年。それは1980年代の総決算であり、1990年代―新しい時代―への萌芽でもあります。そして世界の中の日本、日本の中の熊本を見ても、それは同じこと。私たちの熊本はこの10年どのように動き、これからどのように新たな時代を築いていくのでしょうか。今回の特集では、県政10年を振り返り、明日のくまもとを考えてみたいと思います。



(注) DECADEとは「10年間」のこと。